



## 韓国麗水クラブ50周年 記念例会に出席して

団長 鈴木 恵次

4月26日6時30分熱海駅集合、深澤ワイズのお見送りを受け山崎会長を筆頭に総勢6名での珍道中の出発です。この時間、熱海駅も通勤のサラリーマンで混雑し「セカセカ ガヤガヤ」日本を担うエネルギーを垣間見ました。成田→釜山1時間半、飛行機の苦手な山崎会長はお酒を飲んで気を紛らわしていた様です。

釜山空港では麗水メンバーで宿泊するホテルのオーナーの柳庄福さん、通訳の森春鈴さん（日本人女性で韓国人と結婚し麗水在住8年）のお出迎えを受け、高級車で一路麗水の例会会場へ、途中2回トイレ休憩、昼食を入れて3時間30分、高速道路なのにガタガタ揺られて6時15分頃到着しました。道中、会長は韓国語での挨拶の練習、通訳さんとメネットをまじえ真剣でした。

席に着いて6時30分の例会のスタートを待ちます。韓国流なのか時間になってもまだまばら、30分遅れの開会でした。200名以上の参加で盛大でしたが来賓の挨拶の長さにはちょっとうんざり、何かわからないけれどそれぞれが自己主張しているようで、まるで選挙の立会演説のようでした。いよいよ山崎会長の挨拶。練習の成果が出た様で短く素晴らしい挨拶で拍手喝采でした。お料理はユッケがとて美味しくそれぞれ何杯もおかわりをしました。宴も山田修司さんの韓国語のカラオケが好評で熱海メンバー全員で舞台上がり唄い、盛り上がりました。

一つの朗報は交流の途絶えていた釜山アルファクラブのメンバーとも話が出来、再度交流しようと固い約束をしてきました。この夜はまだまだ麗水メンバー10名と二次会カラオケへ・・・



## YY談義 報告

EMC委員長 泉明寺 みずほ

日時：平成30年4月16日（月）  
場所：睦会館  
参加者：14名（2次会 9名）  
議題：事業の検討について ほか

### メンバーからのご意見

- ・最盛期は100名を超える会員数であった。様々な事業を行うためには50人以上の会員数が必要。
- ・来年度、対象の広い範囲でアンケートを実施してはどうか。今後どんな事業ができるのかのヒントを探ることなどが目的。
- ・青少年の予算70万円。サマーキャンプにおいて近場のキャンプ場を利用することにより、経費削減に努めた。また、協力者の参加も仰ぎやすかった。このように、従来のスタイルから変化させることも大切ではないか。
- ・新事業も大切だが、まずは現在の事業内容の充実を図るべき。
- ・ドッチボールについて。先生からのアンケートが酷評であった。ワイズ独自の事業であることをもっとPRしてはどうか。事前準備の様子などを新聞にとりあげてもらう等。
- ・こどもの状況が変化してきている。例えば、全国で子ども食堂が広がりを見せる中、熱海にも対象児童がいることを鑑みれば、ワイズの事業は大切な役割を果たしているのではないか。今後、返済不要のワイズ奨学金なども検討してみてもは。
- ・はがきコンテストは入賞すれば高校進学の際に必要な履歴書に記入することができるため、学校側から大変喜ばれている。
- ・全体的にワイズに関するPRが足りない。（新聞などのマスコミを積極的に利用するべき。）
- ・ロータリークラブ、ライオンズクラブ、JC など、他の社会奉仕団体との交流を密にしてはどうか。（首脳会談、懇親会など）
- ・新聞社対策を万全に。（例会などの内容を定期的に掲載してもらう。ワイズでコラム欄を担当する。）
- ・伊東市では市の行事においてワイズの会長が挨拶をしている。熱海市も、もっと市の事業と関連をもち、本当に市、教育委員会、子どもたち等が望む事を押し進めてゆきたい。



## 次期会報・広報委員会 抱負

橋本 一実

梅田邦彦次期会長よりご指名をいただき、次年度、会報・広報委員会を担当することとなりました。皆さん宜しくお願い致します。

昨今、熱海クラブのブリテンは東日本区から表彰を受けるほど充実し、デザインも洗練され、明るく見やすいものとなっています。いかに熱海クラブが年間を通じて各事業に取り組み、ひとつひとつ積み重ねている様子をクラブ内外に周知する大切なツールとなっていることは言うまでもありません。私が入会した当時のものと比較すると印刷技術も向上し、コストもかなり削減できている現状です。

次年度も梅田会長や役員の皆さんはじめ、多くの皆さんの声をしっかり掲載するとともに、梅田会長の掲げる目標に向けて様々な工夫や方法を検討し、楽しく充実した会報・広報委員会の一年間としたいと考えております。



## 次期EMC委員長 抱負

栗本 治郎

梅田次期会長からお電話を頂き、EMC委員長をお願いしたいと言われたとき、瞬間思ったことは、今期理事主題を「広げよう ワイズの仲間」とし、会員増強を方針の一丁目一番地に掲げていながら、ここまで良い成績を残せずにいることが頭をよぎりました。次期梅田会長から天命のように、EMC委員長に指名されたと感じました・・・？

しかし、これは東日本区全体でのことで、熱海クラブは今期既に4名の新会員を迎えていて、更に今月2名が入会する予定です。さすが熱海クラブだと、理事として感謝しております。

また、富士山部エクステンション委員会も今期発足しておりますので、伊東クラブの久保田エクステンション委員長と連絡を密にして、エクステンションにも協力したいと思っております。

今期同様に次期もEMCの成果が上がりますようご協力をお願い致します。



## 次期親睦委員長 抱負

清水 仁

まだまだ新人なのに大役を命じられ戸惑っております。しかし、引き受けた以上は今までの委員長をやられた方々以上に頭を使ってがんばっていきます。

皆様のお力をお借りしたいです。何度も言いますが、本当に新人で分からないことばかりですが、一生懸命やります。一年間よろしく願ひいたします。



## 次期IBC・BF委員長を拜命して

札 埜 慶一

梅田次期会長より突然の電話があり次期IBC・BF委員長に指名され、あまり爺をこき使うなどお願いしたのですが、どうしても一緒に仕事をしたい（もしくは肉を食べたい）という梅田 Y's の熱意に押され引き受けさせていただきました。

副委員長・三井敏正 Y's、委員・小松巖 Y's という最強の布陣となり、大いに楽しく盛り上げていきたいと思っております。

思えば、10年ほど前の小松巖 Y's 会長の時にマニラダウナタウンクラブとIBC締結をしたいというお話をお聞きし、その夢をかなえるため8年ほどの時間をかけて50周年記念として皆様のお力添えを得てIBC締結したことを思い出しました。

今年は、日本区BF代表、富士山部国際交流主任、熱海クラブIBC・BF委員長という3つの重責が重なり全てが国際親善を図るためのものとなりました。お引き受けした以上は責任を果たしていきますので、どうか皆様のご指導ご鞭撻の程をお願いし、ご挨拶とさせていただきます。



## 次期青少年委員長 抱負

青木 義美

少なくとも私の記憶では青少年委員長を受けたのは入会以来2度目である、基本的にアウトドア派であるので多くの委員長のおひざ元でお手伝いをさせて頂いたのは多々あるが。最初は1989年後藤会長の時、若干39才・・・今から30年近くも前だ。この年寄りに委員長を受けさせる梅田次期会長は老人いじめの何物でもない。・・・と言うような悪口を言っている時ではないのだが。

当時仕事柄夏のキャンプは厳しいという事で後藤会長の許可を得てデイズニーランド日帰り旅行ですませた。その代り冬は時間あるので当時日帰りスキーであったのを2泊3日のスキー教室にした、私のホームグラウンドにしている白樺湖ロッジへの宿泊であった、清里のようにゲレンデの横というような条件は良くなくロッジのワゴンで送迎をしてもらった記憶がある。後悔しているのは伝統のYMCAキャンプをやめてしまった事だ。やはりサマーキャンプ=YMCAであるのだから。

その仕事が今回回ってきた。老体に鞭打ってキャンプとスキーを無事に完成させたい。日下君というスキーのプロが副委員長になってくれたうえ今年のスキーで活躍してくれたこれもスキーのプロの森田君もメンバーに加わっており鬼に金棒の雰囲気です。